

令和7年9月11日

茅ヶ崎市長 佐藤 光 様

茅ヶ崎市食育健康づくり推進委員会
委員長 北岡 英子

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画の進捗管理と中間評価について（答申）

令和7年8月7日付け7茅健増第95号で諮問のありました、茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画（第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画）の進捗管理表（令和5年度～令和7年度）の令和6年度事業結果と評価及び令和7年度の指標と目標値、計画の中間評価における手法について次のとおり答申いたします。

答 申

茅ヶ崎みんなの食と元気と歯っぴい計画は、第3次茅ヶ崎市食育推進計画、第2次茅ヶ崎市健康増進計画、第2次茅ヶ崎市歯及び口腔の健康づくり推進計画の3つの計画について、各計画の役割を明確にし、独立した計画として作成しつつ、それぞれの課題を一体的に捉え、より効果的な事業展開が可能な計画となるよう、令和3年3月に策定されました。

令和6年度は、各計画で様々な事業が展開され、概ねどの計画も評価が高いものでありました。しかし、働き世代向けの事業では対象となる層の参加者が少ない傾向にあり、事業の周知方法について課題が見受けられました。対象者に合った、周知啓発方法を選択し、情報を広めていくことが引き続き求められます。様々な事情で中止となった事業に関しては、代わりとなる事業が記載されることで、計画の目的に合わせた事業展開が見えやすくなると感じます。今後、行政と民間がより協力し合い、本計画の有効な実施方法を検討していくことを望みます。

計画の中間評価における手法において、インターネットを用いたアンケートを主として行い評価資料することは、手軽に回答できるメリットがあります。その反面、インターネットを使用できる方でないという課題や、年齢層の偏り、重複回答の可能性もあります。そうしたリスクがあることをよく考慮したうえで実施し、計画に活かしていくことを期待します。

以上